

令和6年度第 2 回 恵那市環境審議会 会議録

日時：令和 7 年 2 月 20 日（木） 午後 3 時から
場所：恵那市共同福祉会館集会室

- 1. 開会
- 2. 会長挨拶
- 3. 水道環境部長挨拶
- 4. 議題
 - (1) 恵那市地球温暖化対策実行計画【事務事業編】の進行管理について 資料 1
 - (2) 恵那市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】の進行管理について 資料 2
 - (3) 環境施策の取組について 資料 3
- 5. その他
 - ・ 恵那市次期総合計画の策定について（報告） 資料 4
 - ・ 中津川市・恵那市広域ごみ処理施設整備について（報告） 資料 5
- 6. 閉会
- 7. 会議の公開・非公開・・・公開
- 8. 出席者の数・・・12 人中 9 人（以下のとおり）

氏名	選出団体等	備考	出欠
福井 弘道	中部大学	会長	出席
柘植 清成	恵那市環境対策協議会	副会長	出席
保母 鎖利	地域自治区会長会議		出席
吉田 純一	市民エコ会議		出席
坪井 弥栄子	恵那市子ども・子育て会議		欠席
吉村 良	恵那市校長研修会		欠席
鈴木 雅博	恵那市農業振興協議会		出席
小椋 正明	えなの森林づくり推進委員会		出席
加藤 規久	恵那商工会議所		出席
渡會 充晃	恵那市恵南商工会		欠席
猪岡 貴光	環境省中部地方環境事務所		出席
野原 勝樹	岐阜県恵那県事務所		出席

- 9. 傍聴者の数・・・4 人

1. 開 会

■事務局（進行） ただいまより第2回審議会を開催します。本日の会議は、環境基本条例に基づき、環境行政に関する重要な事項をご審議、ご助言いただきたいと考えています。

本日は委員 12 名中 9 名出席、欠席 3 名で審議会が成立していることを報告いたします。この会議は公開とし、資料、議事録は市ウェブサイトで公開させていただきます。

2. 会長挨拶

[会長 挨拶]

3. 水道環境部長挨拶

[水道環境部長 挨拶]

4. 議題

（1）恵那市地球温暖化対策実行計画【事務事業編】の進行管理について

■事務局（進行） 議題に入ります。市環境基本条例に基づき、会長に議長として議事進行をお願いします。

■議長（会長） 議題（1）について事務局から説明をお願いします。

[事務局から資料に基づき説明]

■議長（会長） 委員の皆さまからご意見がありましたらお願いします。

■委員 1 指標の関係で確認したい事項があります。先ほど、電力の方の係数が良くなってきたからという説明があったが、それは基礎排出係数を用いた算定値と調整後の排出係数による算定値の差の説明だったのか、何が良くなってきてどう変わっているのかよく分からなかったので再度説明をしてほしい。

また、LED 照明の導入が、407 施設中の 19 施設が全部切り替わったという説明だったので、多分そうなのかと思うが、4.7%と変わらないということで、令和 5 年度事業では体育館には入ったけど東野小学校の校舎全ては換わってないので加算されなくてということなのか確認したい。

再生可能エネルギーの導入拡大が、40%という修正の話が出たが、そもそもこちらは母

数がいくつで、基準年の 24 施設の意味と目標値の設置可能な施設数の 50%以上 30 施設の整合性が取れないのでその辺の説明をしてほしい。

■事務局 1 つ目の排出係数についてお答えします。グラフのページ（資料 6 ページ）で 2023 年度排出実績が 16,477 t-CO₂と、下段の 14,798 t-CO₂。これは両方数値が良くなっている。電力会社の数値が良くなっている。両方削減ができています。

■委員 1 調整後とはどういう意味なのか。

■事務局 調整後とは、再生可能エネルギーの環境価値というのがあり、その環境価値を考慮したもの。一般的には調整前の基礎排出係数で確認していただきたい。

資料 7 ページの指標は数字が 15,219 t-CO₂と出てくるが、これは施設の省エネ化のみ見たもの。下段の電気を見ると、令和 4 年度が基準年のときより増えているが、二酸化炭素としては係数が改善しているので全体的には減っているが、使っている電気は増えているので、職員も徹底した省エネに心掛けていきたい。

LED は、東野小学校の体育館はできているが教室、校舎はまだ。施設全体が LED100%にならないとカウントされないの低い数値で 4.7%となっています。

再生可能エネルギーの導入拡大について、母数として設置可能施設が 60 施設で、50%以上の 30 施設ということとなっています。現在、恵那電力が令和 4 年から稼働しておりまして、令和 3 年度中に公共施設の屋根などに太陽光を設置しているので、2021 年に 24 施設あり、60 分の 24 で 40%という状況になっています。

公用車は 127 台中の 12%ということで 15 台程が次世代自動車に転換できている状況となっています。

■委員 1 令和 5 年度は 2 台と記載があるが、それだと伸びがおかしくないか。

■事務局 令和 5 年度は 2 台更新したのですが、ハイブリッド 2 台を更新したため、総台数は増えてない状況となっています。

■委員 2 資料 6 ページの棒グラフについて、2022 年は目標よりも上の 18,261 t-CO₂と、かなり排出量が増えていたが、2023 年になると目標値まで下がっているが、その主な削減要因は何があったのかどうか聞きたい。

■事務局 職員も省エネの徹底を心掛け取り組んできています。本年度は毎月職員への周知を行っていますが、令和 5 年度から毎月ではないですが徐々に啓蒙をしている状況ですので、そうした影響があったと思われます。あとは、電力の排出係数が電気会社で設定されており、再エネ率が高くなっており、係数の数値が低くなった影響が大きいと思われます。

■委員 3 恵那市の事業で WRC（世界ラリー選手権）があるが、あの事業は、ゼロカーボンとどういう整合性があるか説明をお願いします。

■事務局 直接の担当ではないので、聞いているところですと、ハイブリッド車両を導入

しているし、使っている燃料が化石燃料ではなく、合成燃料で、環境にやさしいものであるため、技術革新にもなっているということを聞いています。二酸化炭素の排出削減は技術革新が必要であると思いますので、そういうところで貢献していると思います。

■委員 3 通常の燃料と比べて少ないということでしょうか。影響はないだろうということでしょうか。

■事務局 はい。

■委員 4 恵那電力のプレスリリースの資料（P11）があったが、これはエネルギーの地産地消ということで、地産地消とは普通は自分で作ったものを自分で消費することだと思う。日本ガイシ株式会社と恵那市と中部電力ミライズ株式会社の3社の出資ということで、コスト面はどうなっているか。例えば電力量に応じて安くなるとか。自分たちで作っているのですいうのでそういうので恩恵があるのか。（地域新電力会社は）コスト的に最近厳しいという話があるが、地産地消で自分たちが出資しているということで地域に裨益するようなコスト面でのメリットがあれば教えて欲しい。

■事務局 資料で出ているものは阿木川ダムの施設で、恵那電力の施設ではなく、余剰電力を落札して権利を恵那電力が取得した。という形になっています。地産地消というと、自らの電力施設で電力を自ら使っているという形になるが、現状は買っているという状況になっていますが、市内でできた電力を市内で消費できるということで、地産地消と言っています。今、こちらは電力を購入しており、市内に供給するということで、劇的に安くはならないが、電力供給の契約ができています状況となっています。

■議長（会長） その他、意見ございますか。他に意見がないようですので了承いただいたものとします。

（2）恵那市地球温暖化対策実行計画【区域施策編】の進行管理について

■議長（会長） 議題（2）について事務局から説明をお願いします。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■議長（会長） 委員の皆さまからご意見がありましたらお願いします。

■委員 5 資料3ページ、各部門からの排出量が記載されているが、農林水産業が少ないがこんなものなのでしょうか。

■事務局 これは将来を推計した数値となっており、人口減少や農家数が少なくなることにも加味して、自然減になることも含まれています。今後、衰退してしまうと二酸化炭素も出てこなくなること農林水産業では排出量は少ない数値となっている。

■委員 5 わかりました。あと、業務その他というのは行政ということでしょうか。

■事務局 行政もここに入りますし、サービス業や製造業、建設業・鉱業以外のものが入

っています。

■委員 5 先ほどの説明では人口減少を加味しているとの説明であったが、農林水産業以外にも人口減少を加味しているのでしょうか。

■事務局 そうです。

■委員 5 何もしないとここまでは下がらないのでしょうか。ただの人口減少だけならここまで下がらないのでしょうか。

■事務局 そうです。何も対策を行わず人口減少のみではここまで下がりません。製造業、家庭などにもご協力いただいて、もちろん農林水産業も取り組みをしてもらうというシナリオとなります。

■委員 4 先ほどの質問と同じような質問になるが発言させていただく。（資料 2 ページ）目標として、「省エネ対策・再エネ最大限導入により、地域経済の活性化や雇用創出につながる持続可能なまちづくり」ということだが、コストについては話をすると自己矛盾が出てくるかと思うが、活性化するなら、効率化を高めつつも、ただ少子化で減るというのではなく、何か産業や地域が生き生きすることをやっていくというのが大事だと思う。最終的に全部になると死に絶えている状態だと意味がなくなってしまうので、その辺をどうバランスを考えているのか。地域が活性化していくことについて、どう考えがあるのか、この場の議論ではないかもしれないが答えられる範囲で説明をお願いします。

■事務局 発展していかないと持続可能性もできないと思うので、まちづくりに生かしていけるよう、二酸化炭素排出削減や温暖化対策をビジネスチャンスとして捉えていただき地域経済が活性化するように、市としてご支援していきたいと考えています。

■委員 4 できればそのメッセージを、この計画含めて市民に伝わるようにしてもらいたいと思います。私からの希望です。

■委員 6 実行計画の中で、農林水産業が衰退するということもあるが、森林吸収がマイナスだが、今の荒れ山だったら吸収もできないので、吸収できるように山対策をしないといけないと思う。一番大事なことであると思う、恵那も山林が多く守っていけば自然に落ち着く部分もあるが、農林水産業が衰退していってしまうと担い手がなくなるので、そこも確保していかないと、この数字が追いついていくのか疑問に感じるので、市としてもテコ入れしてもらえれば一番いいかなと思う。

■委員 7 資料 5 ページですが、産業別エネルギー消費量について。私自身は金属製品の加工をしており、エネルギー消費量が多い産業に属すると思うが、意外とパルプ・紙・紙加工品製造業が突出して多いので、これは業態によるものなのか、恵那市の事業者数が多いためなのか、その両方なのか、その要因を教えてほしい。

■事務局 特定排出事業所と呼ばれる、エネルギーを沢山使う事業所が市内で 16 社あります。その中で、紙・パルプ産業の事業所が 3 社あります。その他にも、16 社には入っ

てないが、紙・パルプ産業の事業者は多く、県内でもこれだけ一つの自治体にある自治体は少ないと思います。紙製業では、紙すき後に紙を乾かすので、その工程で蒸気を使うのが一般的で、かなりエネルギーを使う為、要因になっていると思います。ご質問のお答えとしては、両方の要因があると思われます。

■委員 7 商工会議所でも各産業の部会があるので、このデータを紙業部会に展開して意識高揚に努めてもらうよう私のほうからも周知してまいりたい。

■委員 1 資料 3 ページの森林吸収のことが記載あり、あと太陽光の 2 つが下に記載されていて、これが実績 0 で、減っていくというのは、どういう意図でしょうか。森林吸収は基本的には毎年行われているが、2013 年に考慮されてなかったものを、2030 年は 72,329 t-CO₂減となる。それは上の表に（数値）算入されているのか、これぐらい増えるまで森林整備を進めるという意図なのか分からないので教えて欲しい。

また、太陽光発電を持ち家に付けることができるというのは、上の「家庭」の中に本来入るものではないのかと思う。あえて、別にしてあるのはどういう意図か分からないので教えて欲しい。

■事務局 森林吸収の算出に当たって、2013 年時点では算入しないというルールがあったため 0 になっています。2030 年にはこれぐらいのマイナスが見込めるように、植林などを取り組んでいくということで、統計上のルールによるためご理解をいただきたいと思っています。

「太陽光（持ち家）」については、太陽光を付けると家庭の使用量が減るので、上の「家庭」の中でマイナスすることが実際であります。ただ、計画を作る段階で、排出されるものと、森林吸収は逆のマイナスで打ち消すもの、太陽光も打ち消すもので、そういうルールのもとで、出すものと吸収と再エネ導入で相殺してカーボンニュートラルという、そういう形になっています。

■委員 1 太陽光の発電量は本来家庭での電気使用量に加えないといけないと思うのですが、その点についてはいかがでしょうか。

■事務局 使用量は使用しているので数値はプラスになっています。

■委員 1 太陽光で発電したものも使用量としてはカウントされているという整理でしょうか。

■事務局 そうです。電気を使えば、出したものとしますが、それが再エネでまかなわれていれば、逆のマイナスで増えた分で相殺されるという考え方となっております。

■議長（会長） これは系統電源の使用量という感じだと思います。2030 年 46%削減とされているのは国の目標がそうなのだが、2 日前のニュースでもあった。閣議決定で 2035 年目標が 60%削減となった。と、ということなので私たちも今後、実行計画の見直しが迫られると思う。その辺を今後、どう考えているか説明いただきたい。

■事務局 計画の見直しや改定については、来年度中に恵那市環境基本計画の見直し検討に入りますので、環境基本計画と温暖化対策実行計画は両輪というか、連携しておりますので、2つの計画の見直しについて、この審議会において皆様からご意見を賜りながら改定したいと思っておりますので、よろしくお願いします。

■議長（会長） 2035 年 60%削減が国の計画ですので、私たちは反映するのか、そのあたりも今後議論されていくと思います。

その他にご意見はありますか。他に意見がなければ次に進みたいと思います。

（３）環境施策の取組について

■議長（会長） 議題（３）について事務局から説明をお願いします。

〔事務局から資料に基づき説明〕

■委員５ コンポストについて、うちの会社でも堆肥化を行っている関係で確認したい。今回、とりあえず初年度は実証のため０円でやられるということではよかったですか。

■事務局 そうです。今回は県の補助金を活用し、まずは市の負担で行なっていきたいと考えています。

■委員５ これは１日何 kg 処理できるのでしょうか。

■事務局 １日当たり 10 リットルで、重量ですと 7 kg を想定しています。

■委員５ 毎日入れても大丈夫でしょうか。

■事務局 そうです。

■委員５ 定期的に取り出す必要もないものでしょうか。

■事務局 最大値で 98%は菌で分解され無くなる。少しだけ堆肥が溜まる。それは２カ月の実証実験では取り出す必要はなかったと思います。

■委員５ コンポストは塩分が濃縮されてしまう。昔スペイン村で実験したが、できたコンポスト（たい肥）を花壇に入れたら根が伸びないので「たい肥」としての活用は満足いく物にはならなかった。この前、（コンポストの）講演会があった。講師のあの方は、すごく上手にやられていたので、参考にして次に活かしていただきたいと思う。何かあったら相談してください。

■事務局 ありがとうございます。

■委員７ 資料２ページ、脱炭素スクールについて伺います。商工会議所の環境情報委員会の委員長を務めさせていただいている。委員は業種がさまざまで製造業から飲食、宿泊業の人もいらっしゃいますが、だいぶ環境についての意識や取り組み方が違います。このスクールは豊田市をモチーフにという話があったが、豊田市でも製造業系が多いと思うが、恵那市の開催では、ターゲットとする部門や事業所があるのか、もしくは幅広くど

の事業者、どの産業でも受け入れるのか、開催スタイルを確認したい。

■事務局 市内事業者であれば参加は可能です。業種、業態によって参加できない形ではありません。主催については恵那市SDGs推進協議会で、こちらの会に参画していただき無料でご参加していただくことを考えています。事務局としては、一番温室効果ガスを排出している製造業をメインターゲットにし、そこで意識を高くしていただき排出量の削減につなげていきたいが、製造業以外でもご参加していただき、参加した仲間で情報共有し仲間づくりも同時にできると考えていますのでそうした機会にしてもらいたいと考えています。

■委員1 スマートコンポストについて、2カ月ほど試しに行うという感じだったが、今の外を考えてもらえばかなり冬は寒い、こんな時期に屋外に置いて堆肥化は進むのか疑問に思う。風通しのいいところだとその分寒く、微生物が働かず処理できずごみが溜まっていくので温度管理などどのように行うのか疑問である。塩分の話もあったが、農薬とか、抗菌剤などが入っていると、菌自体を殺してしまうと、発酵が進まないことになる。周辺住民がどこまで意識してそういうものを入れないようにできるのか。個人が家庭でやるレベルなら何とかできる気がするが、共同でとなると誰の責任になるのかというところで、難しくハードルが高い気がする。個人的な意見であるが。

■事務局 今回の実証実験は、実施時期を想定しているのは真夏を考えており、菌としては最大に効果を発揮すると思われる。先行事例で、かなり冷え込む地域の長野県諏訪市でも行っており、そういう懸念は多少あると思います。恵那市は寒暖差が大きいので、他市の事例の状況を見ながら試してみたいと考えています。

不適切なものを入れることも考えられますが、今回こちらは、事前に講習をして、暗証番号を設定して限られた人で取り組みたいと考えていますし、食べられるものを入れるという形でやっていきたいと考えています。実証実験ということで、住民と対話しながら行っていきたいと考えております。

■委員3 コンポストの実証実験をするなら冬にやらなければだめです。一番大変なときにやらないときちんとした結果は分からないと思う。私も家庭でやっていますが、必ず冬に行わないと夏ではあんまりだと思えます。

■事務局 実証実験を行うのが、翌年度の予算要求という役所の事情もあるので夏に実施となってしまいます。冬の運営等については他市の状況やメーカーなどから情報を得て慎重に考えてまいります。

■議長（会長） その他にご意見はありますか。他に意見がないので審議事項を終了します。

5. その他

・ 恵那市次期総合計画の策定について（報告）

■議長（会長） 次にその他として、事務局から2件の説明をお願いします。

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■議長（会長） ご意見、ご質問はありますか。

■委員5 先ほど議題の説明にあったが、農業、林業が衰退するという話や振興を進めるということだと思うので、そこに向かって努力していくしかないと思うが、結局のところ、全部つながってくるのは、人口増加につなげるしかないと思うが、具体的には書けないのでしょうか。

■事務局 この基本方針は骨子案で全体的なものなので、もちろん移住定住や人口増加対策は行っていくしますので、この基本方針の下にそれぞれの詳細な計画を取り込んでいきますので、そちらに明記されていくものとなります。

■議長（会長） その他にご意見はありますか。他に意見がないので次の説明を事務局からお願いします。

・ 中津川市・恵那市広域ごみ処理施設整備について（報告）

〔 事務局から資料に基づき説明 〕

■議長（会長） ご意見、ご質問はありますか。この審議会からも、検討委員会に参加いただいているが、何か補足やコメントはありますか。

他に意見がないので、全体をとおしてご意見、ご質問はありますか。

ないようですので、審議事項はすべて終了しましたので進行を事務局へお返しします。

6. 閉会

■事務局（進行） 最後に、副会長が閉会のご挨拶を申し上げます。

〔 副会長 挨拶 〕

■事務局（進行） 委員の皆さまの任期が令和5年度、6年度となっております、今年の3月末で任期満了となります。2年間ありがとうございました。年度が替わりましたら改めて委員の選出依頼をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

これにて令和6年度第2回環境審議会を終了します。

〔 閉 会 〕